

地方創生整備推進交付金に係る
地域再生計画仮評価について

経済環境部
建設部

環境政策課
下水道課

ひたちなか市地域におけるきれいな水環境推進計画

計画期間

令和2年～6年度

地域再生の区域

市内全域

◆目標値

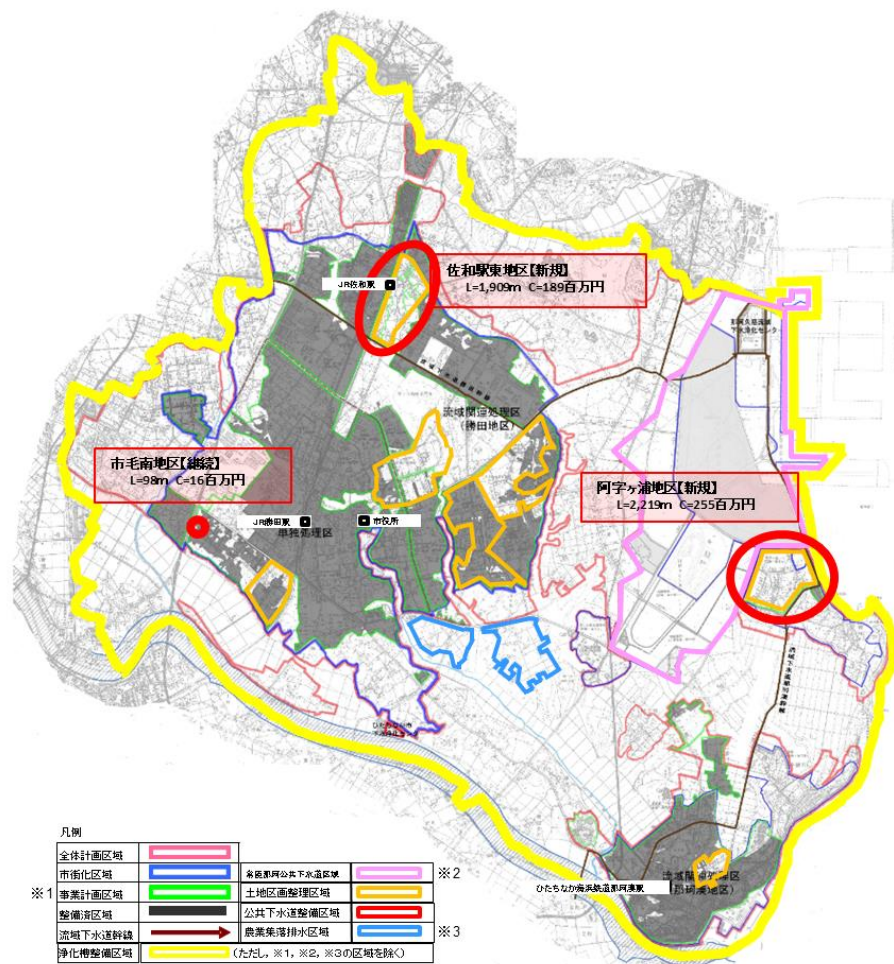
- 汚水処理人口普及率の向上
88.8%(平成30年度末) → 93.7%(令和6年度末)
- 河川環境基準観測地点(4地点×12回)における透視度50度以上達成率
66.6%(平成30年度末) → 75.0%(令和6年度末)

◆取組

- 下水道及び浄化槽の整備
公共下水道 管径 φ200~250mm, 管渠 L=4,226m
浄化槽 1,250基

※ 【汚水処理施設整備推進交付金(内閣府)】

総事業費 913.69百万円 (国費 381.23百万円)
公共下水道 460.0百万円 (国費 230.0百万円)
浄化槽 453.69百万円 (国費 151.23百万円)



仮評価について



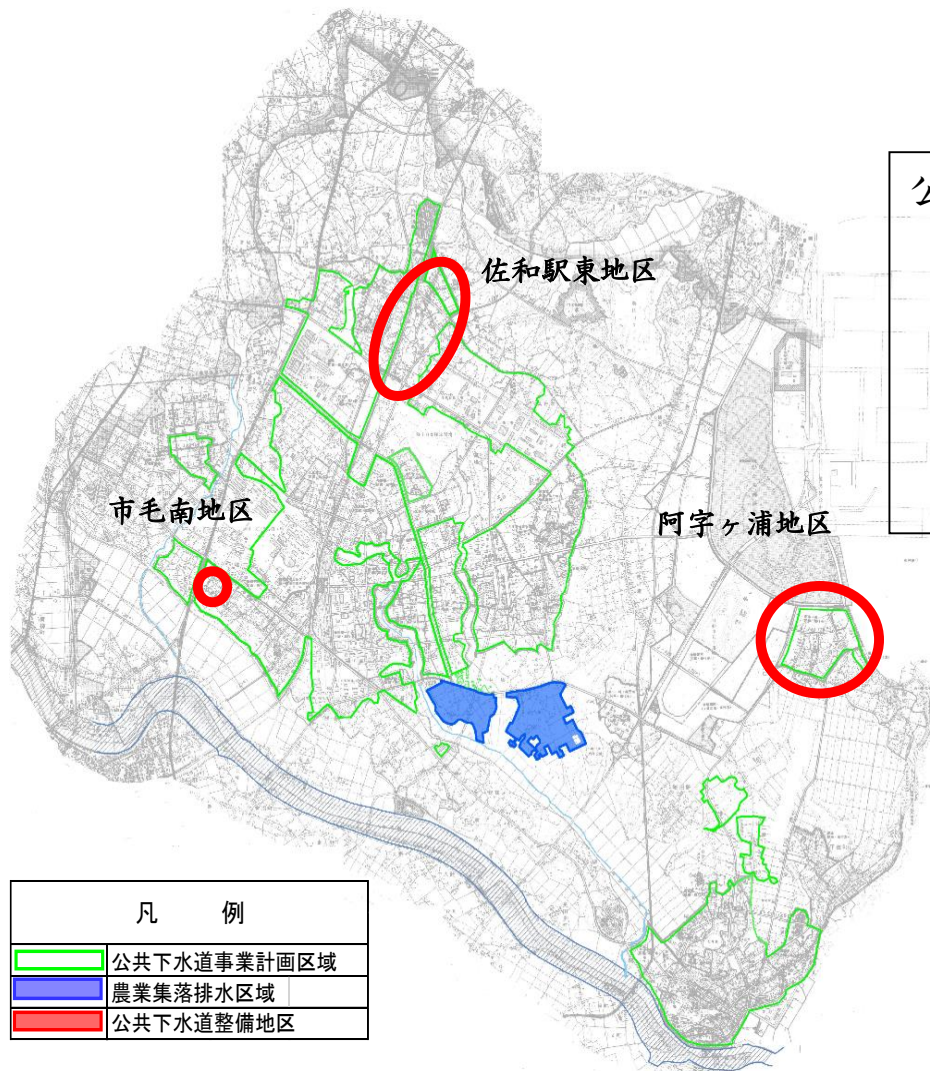
◆目標値		基準値(H30)	中間目標値(R4)	仮評価(R5)	最終目標値(R6)
1.汚水処理人口普及率	目標値(%)	88.8	91.3	-	93.7
	実績値(%)	-	92.1	92.5	-
2.透視度	目標値(%)	66.6	70.8	-	75.0
	実績値(%)	-	81.3	83.3	-

◆実施事業	計画	中間年度	仮評価(R6.6月末時点)	最終実績見込み
公共下水道事業(整備延長m)	3000	1522.3	2928	4226
個人設置型浄化槽整備事業(整備基数)	1250	648	921	1050

汚水処理人口普及率については、最終目標値を未達成。透視度については、既に最終目標値を達成することができた。

公共下水道事業

公共下水道補助エリア：市毛南、佐和駅東、阿字ヶ浦地区



公共下水道

事業主体：ひたちなか市

事業期間：令和2～6年度

整備量（当初）：L=3,000m

整備量（変更）：L=4,226m

事業費（当初）：300,000千円（交付金 150,000千円）

事業費（変更）：460,000千円（交付金 230,000千円）



令和2～5年度までの実績

整備量：L=2,928m

事業費：289,900千円（交付金 144,950千円）



令和6年度の整備見込み

整備量：L=1,298m





事業費：170,100千円（交付金 85,050千円）

市毛南地区

市毛十字路

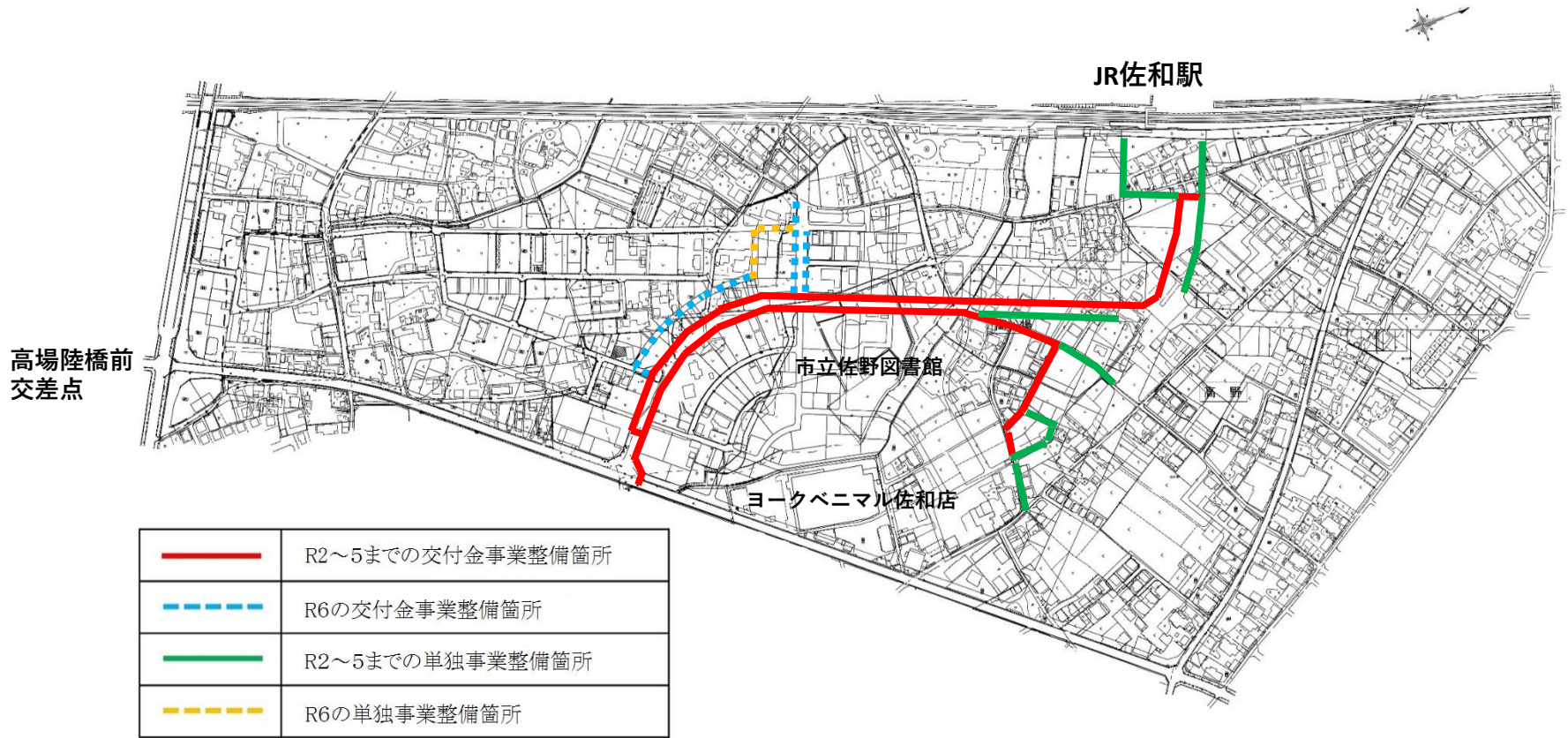
勝田第二中

国道6号

	R2～5までの交付金事業整備箇所
	R6の交付金事業整備箇所
	R2～5までの単独事業整備箇所
	R6の単独事業整備箇所

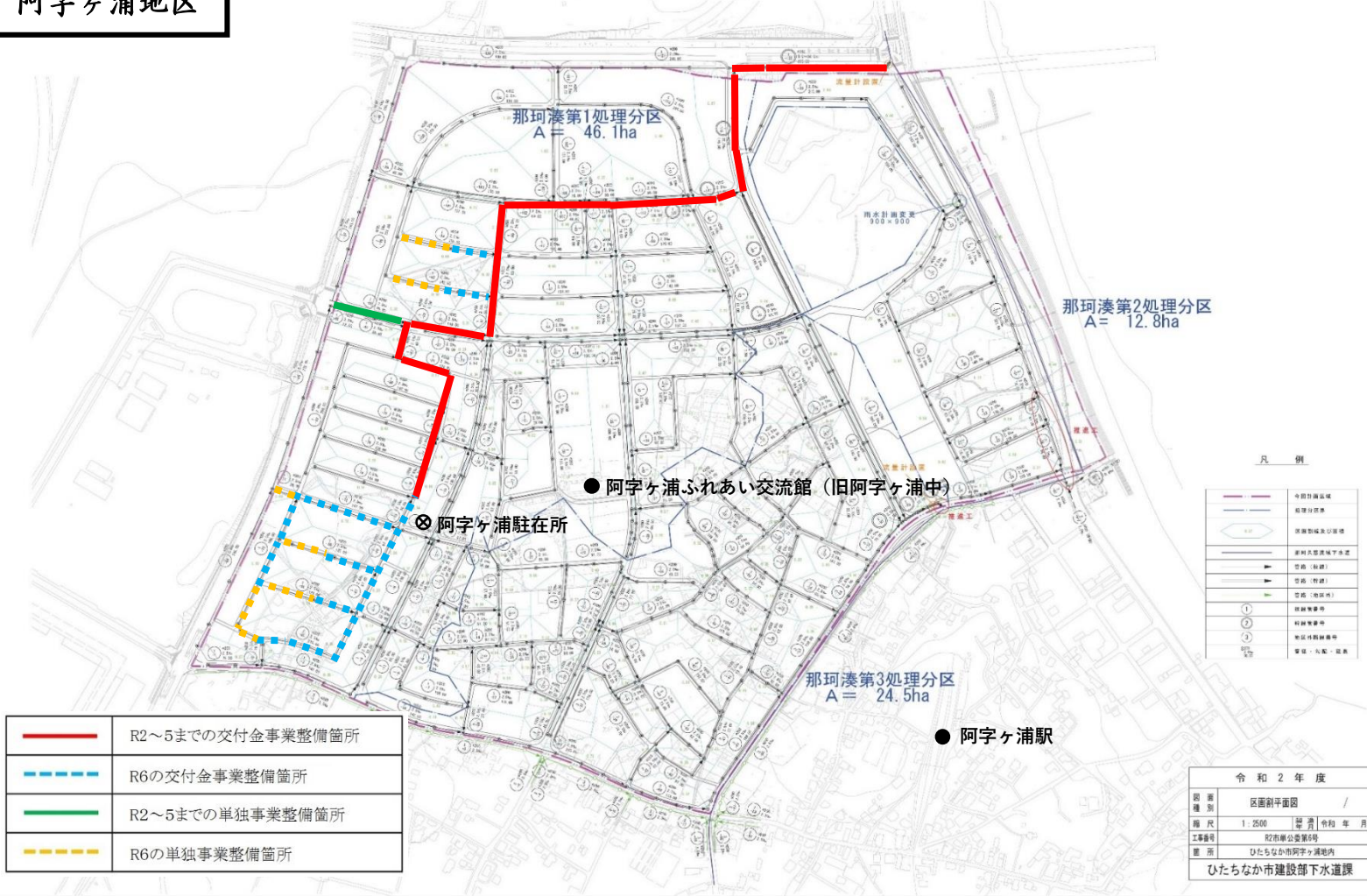


佐和駅東地区



阿字ヶ浦地区

区画割平面図 S=1:2500



那珂湊第1処理分区
A = 46.1ha

那珂湊第2処理分区
A = 12.8ha

那珂湊第3処理分区
A = 24.5ha

● 阿字ヶ浦ふれあい交流館 (旧阿字ヶ浦中)

⊗ 阿字ヶ浦駐在所

● 阿字ヶ浦駅

	R2～5までの交付金事業整備箇所
	R6の交付金事業整備箇所
	R2～5までの単独事業整備箇所
	R6の単独事業整備箇所

凡 例

	今回計画区域
	指定区域
	区域調整及び留保
	新設又は改良予定
	空路 (直線)
	空路 (曲線)
	空路 (施設内)
	地籍境界
	地籍境界線中
	管線・瓦葺・瓦葺

令和2年度	
図 種 別	区画割平面図 /
縮 尺	1:2500 平成 令和 年月
工事番号	R2右第公費第5号
課 所	ひたちなか市阿字ヶ浦地区
ひたちなか市建設部下水道課	

個人設置型浄化槽整備事業



補助件数内訳	H30 (基準)	R2	R3	R4	R5	R6.6月 末時点
浄化槽補助件数(件)	232	190	230	228	208	65
単独浄化槽撤去件数(件)	19	23	24	27	33	6
汲み取り撤去件数(件)	—	—	—	16	9	1
※参考 市の人口(3月時点)(人)	158,675	157,672	156,779	156,144	155,188	

◎ 補助変更点

R2年度 【補助対象の変更】 補助対象者を市の汚水処理人口普及率の向上につながる者に限定する。

R3年度 【補助額の増額】 10人槽 : 438,000円 ⇒ 459,000円

R4年度 【補助額の増額】 5人槽 : 294,000円 ⇒ 332,000円
7人槽 : 342,000円 ⇒ 414,000円
10人槽 : 459,000円 ⇒ 548,000円

【補助メニューの新設】 汲み取り便槽撤去 90,000円
宅内配管設置 300,000円

R5年度 【補助額の増額】 単独浄化槽撤去 : 90,000円 ⇒ 120,000円

※R6.7.31現在

補助メニュー	金額 (円)
5人槽	332,000
7人槽	414,000
10人槽	548,000
単独浄化槽撤去	120,000
汲み取り便槽撤去	90,000
宅内配管設置(単独浄化槽及び汲み取り便槽撤去時)	300,000

その他の事業

○ 公共下水道水洗化普及啓発事業

・水洗化普及員として専属職員2名を雇用。日常的に下水道未接続世帯や接続率の低い地区を重点的に訪問し、水洗化への啓発活動を実施。

○ 環境教育・環境学習の推進

- ・環境副読本の作成及び配布
(小・義務教育学校1年，小・義務教育学校4年，
中・義務教育学校7年)
- ・環境シンポジウムの開催
- ・環境講座の開催

○ 環境保全活動の推進

各活動を通じて自治会を中心にパートナーシップを形成することができ、自主的な美化活動への一助として事業を実施。



まとめ

◎ 仮評価においては、汚水処理人口の普及率が未達成、透視度は目標値を達成することが見込まれる。

◎ 当該補助金に係る事業に関して、遅延なく事業を実施している。

(浄化槽においては、公共下水道整備状況や人口流動に依存するため、多少の設置件数のずれあり)

(公共下水道においては、当初計画整備量3,000mに対し、最終実績整備量は4,226mを見込む。土地区画整理事業の進展に伴い、整備工事を追加で実施。)

「ひとが咲くまち。ひたちなか」 居住環境推進計画【茨城県・ひたちなか市】

現況と課題

- ひたちなか市は、常磐自動車道や北関東自動車道、茨城港常陸那珂港区等の産業インフラが充実し、日立グループやその関連企業である製造業が数多く立地するなど、産業豊かな都市として発展を続けている。また、国営ひたち海浜公園に代表される観光資源にも恵まれ、国内外の多くの観光客を魅了している。しかし、今後は少子高齢化や人口減少の更なる進行という構造変化が想定され、まちの活力の維持が課題となっている。

計画の概要

【計画期間】令和7年度～令和11年度
 【計画区域】茨城県ひたちなか市の全域

○地方創生整備推進交付金(汚水処理施設整備事業)

公共下水道 : 管路 10,334m
 浄化槽 : 1,125基
 総事業費 2,034.2百万円 (国費 934.9百万円)
 公共下水道 : 1,541.0百万円 (国費 770.5百万円)
 浄化槽 : 493.2百万円 (国費 164.4百万円)

【その他 関連事業】

- ・公共下水道水洗化普及啓発活動
- ・環境教育、環境学習の推進
- ・環境保全活動の推進



【デジタルの活用・連携した取組】

- ・下水道台帳のデジタル化及び住民公開
- ・各種申請手続きのデジタル化
- ・中継ポンプ場、マンホールポンプ場への運転可視化システム導入
- ・マンホールポンプ場への緊急通報装置の設置

【PPP/PFIの取組】

- ・処理場等の包括管理委託契約
- ・公共下水道と農集との連携
- ・広域汚泥処理の継続



地域再生のイメージ



計画の目標

- 汚水処理施設の一体的な整備、市民協働による水環境への意識向上を図る取組及び普及啓発活動を通じて、快適な居住環境の構築及び公共用水域の保全を図る。また、本市の優れた産業インフラを最大限に活かしながら都市のコンパクト化を推進し、まちに対するシビックプライドを高め、多くの「まちのファン」の獲得を目指していくことで、移住及び定住促進の振興を図る。

項目	現状 (R5)	目標 (R11)
年間転出超過数の減少 (過去5年平均)	185.8人	0人
河川環境基準点測定地点の透視度50度以上達成率の維持	83.3%	75%以上を維持